

2023
9.1
(金)

滋賀大学教育学部
附属中学校

研究協議会のご案内

総合学習 BIWAKO TIME
40周年

令和5年度研究主題 「問い」を機軸に構成された
カリキュラム・マネジメントの実現を目指して
—対話型の学習で育むグローバル社会に生きてはたらく資質・能力の育成—



学校教育目標：郷土を愛し世界へはばたく心豊かな生徒の育成

参加費：2000円（当日、現金にてお渡しいただきます）
申し込みは右のQRコードからお願いします。QRコードでのお申し込みができない場合は裏面・研究主任あてにメールもしくはFAXでお申し込みください。
滋賀県内の県立・公立の学校園にご所属の方は、総合教育センターの自己啓発研修140でのお申し込みの場合は無料です。滋賀大学に在籍の方も無料となります。
申し込み締め切り 8月24日(木) 総合教育センターの研修のお申し込みはセンターHPよりお申し込み下さい。



当日の日程（対面のみ）

- 9:20～ 受付
- 9:50～10:40 公開授業①・各教科（詳細は裏面をご覧ください）
- 11:00～11:50 公開授業② 総合的な学習の時間「BIWAKO TIME」
- 13:15～13:30 開会行事
- 13:30～15:00 午後の部①基調提案およびパネルディスカッション
(パネリスト・ディスカッサント紹介は裏面です)

テーマ・BIWAKO TIME 40周年 これからの総合学習とカリキュラム・マネジメント
「総合的な学習の時間」創設のモデルとなった前身の「びわ湖学習」開始から、本年で40周年となります。「ESD（＝持続可能な開発のための教育）」「問い」「データサイエンス」と現在、注目される分野でご活躍の研究者の先生方をお招きし、パネリストとして話題を提供していただきながら、これからの総合学習とそれを幹としたカリキュラム・マネジメントの新たな姿を探っていきます。

15:10～16:30 午後の部②教科別分科会（各会場での解散となります）

公開授業②総合的な学習の時間「BIWAKO TIME」について

教科・学年・単元名	授業者	内容
総合的な学習の時間 BIWAKO TIME 中間整理	全教員 (提案者 廣田 真由子)	各グループが夏季休業終了まで進めてきた調査研究の内容について、思考ツールなどを用いて分析し、中間の整理をします。後半の調査研究に向けて、予定している調査内容ことどまらずグループの「問い」そのものが適切かについても検討します。

公開授業① および 午後の部②教科別分科会について

教科・学年・単元名	授業者	指導助言・共同研究	本校教員
国語(2年) 那須与一の行動の是非を討論しよう	中田 利恵	立木 理絵 指導主事(滋賀県教育委員会) 長岡 由記 准教授(滋賀大学)	永田 郁子 中田 利恵
数学(3年) 標本調査	北村 章将	川口 博史 指導主事(滋賀県教育委員会) 高澤 茂樹 教授(滋賀大学) 神 直人 教授(滋賀大学) 渡邊 慶子 准教授(滋賀大学)	山本 真澄 北村 章将
理科(2年) 生物の体のつくりとはたらき 2章 植物の体のつくりとはたらき	澤 一樹	佐々木 奈津子 指導主事(滋賀県教育委員会) 古橋 潔 教授(滋賀大学)	原田 雅史 澤 一樹
美術(1年) 複数の視点から分析する絵画鑑賞	西田 諭史	安本 剛 指導主事(滋賀県教育委員会) 村田 透 准教授(滋賀大学) 馬淵 哲 准教授(滋賀大学)	西田 諭史
保健体育(3年) 【体育分野】器械運動 マット運動	藤田 範子	折井 重之 指導主事(滋賀県教育委員会) 辻 延浩 教授(滋賀大学) 山田 淳子 准教授(滋賀大学)	藤田 範子 貝原 俊樹
外国語(2年) Unit 4 Homestay in the United States	三木 徹	宇田 竜子 指導主事(滋賀県教育委員会事務局) 田中 佑美 准教授(滋賀大学)	澤田 真実 牧野 尚史 三木 徹

午後の部① パネリスト・ディスカッサントの先生方

花園大学 文学部 教授 木村 裕 先生

滋賀県立大学助教および准教授を経て2022年度より現職。専門は、教育方法学。日本とオーストラリアにおける「開発教育」「グローバル教育」「持続可能な開発のための教育(ESD)」のカリキュラム開発や授業づくり、教育方法学に関わる基礎研究、学校教員との共同授業研究などに取り組んでおられます。主な著書として、『中学校 全教科・教科外で取り組むSDGs—ESDの実践づくりの要点とアイデア』(学事出版、2022年)などを発表されています。

パネリスト



千葉大学 教育学部 准教授 小山 義徳 先生

聖学院大学助教を経て2013年度より現職。専門は、教育心理学。児童生徒の「問う力」の育成や、教員の「探究的な授業」づくりに携わっていらっしゃいます。主な著書として、『「問う力」を育てる理論と実践—問い・質問・発問の活用の仕方を探る』(ひつじ書房)、主な論文としては、小山(2018)「教員養成課程の大学生のエッセンシャル・クエスチョン生成スキルの育成」を発表されています。

パネリスト



滋賀大学 データサイエンス学部 教授 佐藤 健一 先生

広島大学原爆放射線医科学研究所准教授を経て2019年より現職。専門は、統計学。放射線を通して、疫学、医学、歯学、生物学、保健学、栄養学、物理学、情報学、社会学、英文学の研究者らと共同研究に取り組み、2010年度、2015年度および2023年度に応用統計学会・学会賞(優秀論文賞)を受賞されています。NHKの歴史番組に数回出演され、今年5月に学術図書出版から「実況!Rで学ぶ医療・製薬系データサイエンスセミナー」を出版されています。

パネリスト



国際日本文化研究センター 教授 山田 奨治 先生

筑波技術短期大学視覚部情報処理学科助手、国際日本文化研究センター助教などを経て、2011年度より現職。専門は、情報学、文化交流史。著作権など知的所有権をめぐる問題の研究、人文資料のコンピュータ解析やデータベース構築、テレビ・コマーシャル研究、武道学研究など、幅広く活躍しておられます。

ディスカッサント



主催 滋賀大学教育学部附属中学校
 後援 滋賀県教育委員会／滋賀県中学校教育研究会／一般財団法人滋賀県教育会
 お問い合わせ先 研究主任 永田 郁子 (Mail i-nagata@edu.shiga-u.ac.jp)
 〒520-0817 大津市昭和田 10 番 3 号 Tel 077-527-5255 Fax 077-527-5261
 URL <https://www.edu.shiga-u.ac.jp/fc/> (本校の地図は学校 HP にてご確認ください)